

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立けやき小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

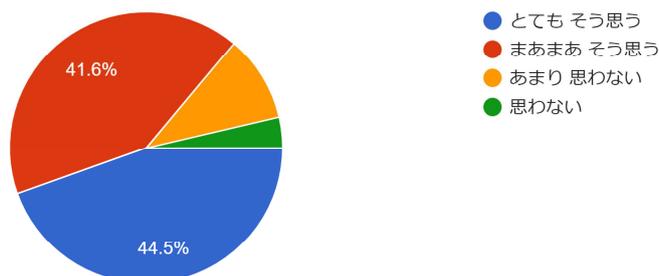
(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価（児童アンケートより）

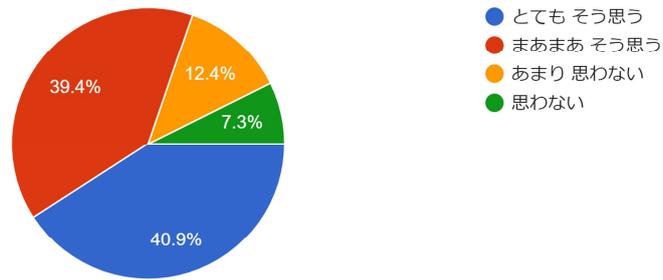
1 1年生からの英会話学習は、楽しいですか。

137件の回答



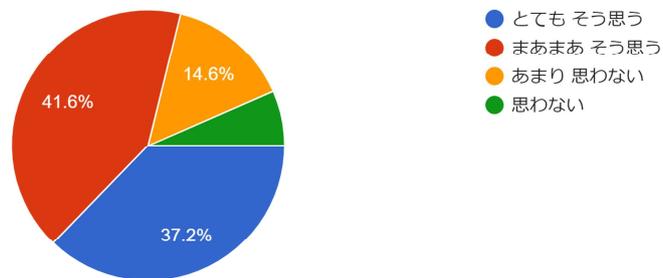
2 1年生からの英会話学習で、英語を「話す力」「聞く力」がついていると思いますか。

137件の回答



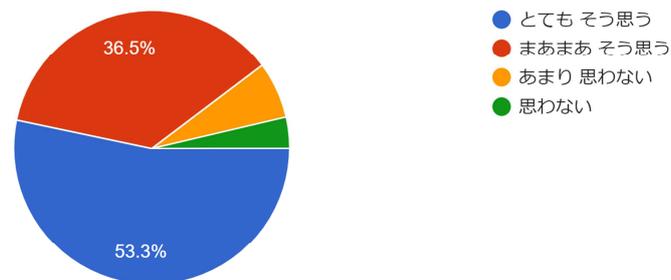
3 1年生からの英会話学習で、外国語や外国への関心が高まっていると思いますか。

137件の回答



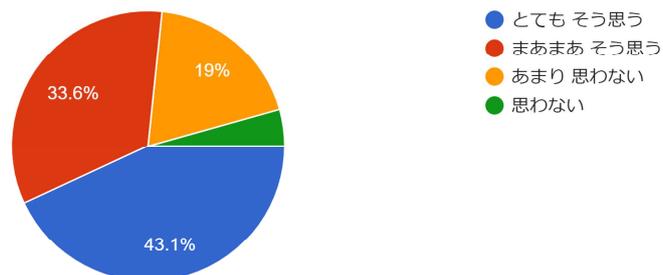
4 1年生からの英会話学習の内容は、分かりやすいと思いますか。

137件の回答



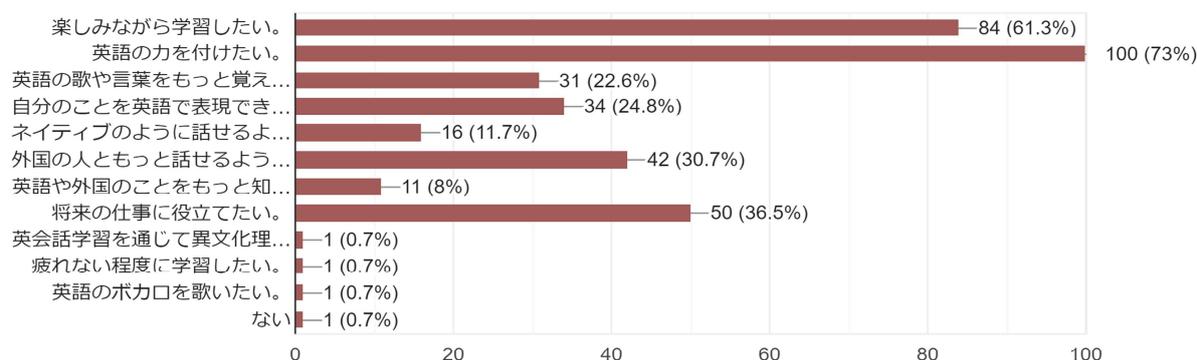
5 ALTの先生やEAAの先生と もっと話したいと思いますか。

137件の回答



6 英会話学習に「期待すること」は何ですか。（3つ以内。）

137件の回答

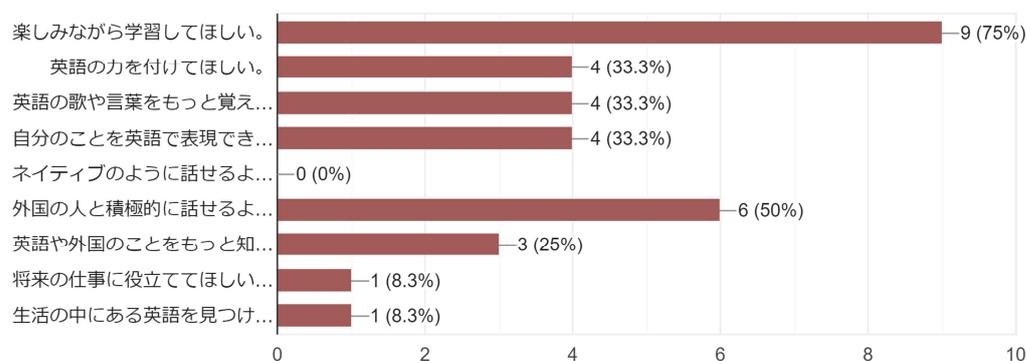


<児童の様子から>

- 英会話学習を楽しいと感じ、興味関心をもって取り組む児童が多い。
- 第1学年からの英会話学習の実施が、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっている。ネイティブの発音を聞きながら、コミュニケーション中心の学習を進めることで、「会話を聞き取って理解する力」や「自分から話そうとする力」が培われている。
- 第1学年からの英会話学習の内容を「分かりやすい」と感じており、積極的に学習に取り組もうとしている児童が多い。しかし、その反面、少数ではあるが、苦手意識をもっている児童がいる。
- 高学年では、足利市独自に計画された10時間の中での「チャレンジDAY」において、既習の内容を実際に使う機会があり、楽しそうに活動している児童の姿があった。さらに、自分の考えなどをプレゼンテーションすることで、英語による発信力が高まることを期待している。

(4) 学校関係者による評価（アンケート抜粋）

5 英会話学習に「期待すること」は何ですか。（3つ以内。）



3. 実施の効果及び課題

○効果

- 英語で自己紹介ができるようになった。低学年でも、挨拶や自己紹介が上手にできている。
- 基本的なセンテンスやフレーズを覚えている。
- 英語に楽しく親しんでいる。
- 話そうとする意欲が高い。

○課題

- 学年が上がるにつれ、取組の積極性に個人差が出てきている。
- 教材の準備にかかる時間と労力が大きい。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- 学校内での英会話学習についての授業づくりについて話し合いをもち統一化を図る。
- 学年が上がっても、会話を重視し、挨拶やそれまで学んできたことなどを基に繰り返す行うことで、コミュニケーション力の向上を図り自信につなげる。
- 英会話学習の観点からも、中学校との連携をより一層密にする。
- 市内で共有できる教材を用意する。